

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)デンケン・ハイデンタル株式会社吉祥院新社屋計画	階数	地上3F
建設地	京都市南区吉祥寺石原京道町24番3	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	97人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 予定	評価の実施日	2019年9月17日
敷地面積	5,396.60 m ²	作成者	工藤 貴志
建築面積	2,319.67 m ²	確認日	2019年9月18日
延床面積	6,893.20 m ²	確認者	松本 眞治



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.3

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	京都市南区に新設される工場の計画である。省エネ、省資源に配慮し、また敷地内緑化を積極的に採用し利用者の快適性向上を図る計画としている。	その他 特になし
Q1 室内環境	採用する建材や換気に配慮し空気室環境向上に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内緑化、屋上緑化を行い室外環境に配慮している。
LR1 エネルギー	高効率設備を採用し省エネルギーに配慮している。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率抑制に配慮している。
Q2 サービス性能	更新必要間隔の長い内装材、配管材料を採用し建物耐久性に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	節水機器の採用や容易に分解できる部材を用いて、省資源に配慮している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される